



「待たせる」政治から「待つ」政治に

「保育園落ちた日本死ね」から五年。保育園の待機児が減り神奈川県では二百に。四十余年前、筆者の子育て時代に「保育園を作れ」と運動していた頃から見ると夢のよう。

定員割れの保育園も出て経営が大変。待機児を引き受けていた無認可保育園は更に大変。

これまでは「保育園入園を待たせる」政治だった。これからは「保育園が待つ」ようにすべきではないか？

「待つ」には、常に空きがある状態にする必要がある。すると保育園に入る保育料が減る。空きを確保できるよう補助する事が必要。

「待たされる」事ばかり

最近、世の中は待たされる事ばかり。銀行でも「番号札を取って待て」と。銀行は係員

を減らし客を待たせる方が儲かる。銀行なら長く待たせたら利用を止めることも出来る。

しかし、医療ではそれも行かない。

厚労省は医療費切り詰めの為、公立・公的病院の病床削減を進めている。空き病床は無駄とばかりに。それは患者を待たせる事。

コロナに感染、症状も深刻なのに病床が見つからず、入院できず亡くなる人も出ている。

「病床が空くまで病人を待たせる政治」の破綻ではないか。

急病人、けが人の為にも空き病床は常に必要。「コロナに感染したら、すぐ来て下さい」と「待つ」体制を整える政治に変えるべきでは？

あなたはこう思われますか？

打越橋

横浜市南区打越

二〇二二年八月



この丘は牛島山と云われていた。関東大震災の後、ここに多くの避難民が定住。そこで、切通が開かれた。市電も通り、伊勢佐木町から山元町への交通が便利になった。

しかし、牛島山の尾根の生活道路が分断されたので、打越橋が作られた。震災復興事業として横浜に造られた一七八の橋の一つ。

JR保土ヶ谷からのバスは、この橋を渡り、桜木町に行く。

ところで「打越」と云う地名は横浜市内で八ヶ所。他にも鎌倉、平塚、厚木等、全国に。

岩波古語辞典で「打越」は「境界を成す物を越えること」とある。

今昔物語には「船の高欄を打越して」とある。

他に、俳諧連歌で前の前の人の句。江戸の問屋を通さない商品輸送など色々。

山下 徹

